

第 18 回 CCC 実行委員会 Campus Climate Challenge (第 37 号)

Campus Climate Challenge(CCC)実行委員会は、2008 年 10 月に全国青年環境連盟(エコ・リーグ)を中心に、大学の気候変動対策に関心のある複数の大学のメンバーによって結成されました。現在は、約 20 大学から約 100 人がメンバーとして参加しています。

大学にはこれまで二酸化炭素(CO₂)排出規制等がなく、また社会的にも関心が薄かったために、大学の気候変動対策はほとんど進んでいません。一方で、日本に 700 以上ある大学の CO₂ 排出削減のポテンシャルは高く、学生が多くの時間を過ごすキャンパスでの対策は教育効果も高いと考えています。そこで CCC 実行委員会では、大学キャンパス内での気候変動対策を進めていくために「エコ大学ランキング」を通じた調査をはじめ、各大学で気候変動対策に取り組んでいる学生向けの勉強会や活動サポートを行ったり、一般の学生向けの活動ガイドの作成を行ったりしてきました。

2009 年度に実施した「第 1 回エコ大学ランキング」では、全国 334 大学を対象に地球温暖化に関するアンケートを送付し、107 大学から回答を得ました。この回答をもとに、各大学の取り組みを点数化してランキングにまとめ、昨年 9 月にランキングの公表・表彰式を行いました。

国立大学で 1 位になった岩手大学では、学生参加型の環境マネジメントシステムを実施しており、学生が教授会に参加したりパンフレットを作成するなど、他の学生や教職員などに積極的に広報・啓発を行い、平成 20 年には、平成 15 年度比で 6.5%の CO₂ 排出量削減を達成しています。CCC 実行委員会では継続的に調査を行うことにしており、現在、第 2 回の準備を進めています。

このような調査と同時に、調査で判明した先進的な取り組みを他の大学にも広めていく活動も行っています。昨年 12 月には、積極的な取り組みを行っている大学とともにエコプロダクツ 2009 に出展し、学生や教職員だけでなくさまざまな業種の企業の方に足を運んで頂き、取り組み内容を紹介しました。また 3 月には、アメリカで CCC を立ち上げた環境 NGO のメンバーを招いて話を伺うとともに、参加した大学教職員や学生が互いに連携して対策を進めていくための方策を議論しました。また、各大学で実際に活動を始めるためのきっかけづくりとして、上智大学で教職員や学生が参加して学内での問題点やこれからの課題を共有するエコキャンパスツアーを実施しました。現在はこのツアーで判明した課題などの解決を目指して、組織を作って持続的に活動を行っています。

CCC 実行委員会の活動はまだまだこれからですが、全国の大学で地球温暖化対策を推進し、大学から社会を変えていくために、これからも活動を続けていきます。

ホームページ <http://ccc.eco-2000.net/>